

自費出版

ふらむ

2006

第62号

発行 / 交友プランニングセンター「ふらむ」編集部

〒651-0096 神戸市中央区雲井通5-3-1 サンパルビル2F
TEL(078)221-4886 FAX(078)221-4887
E-Mail kpc@koyu-p.co.jp

高砂プランニングセンター

〒676-0066 高砂市高砂町鍵町72番地
TEL(0794)42-3426 FAX(0794)44-2117
E-Mail takaei@koyu-p.co.jp

大阪プランニングセンター

〒530-0044 大阪市北区東天満1-12-13 K Sビル3F
TEL(06)6242-8875 FAX(06)6242-8876
E-Mail osaka@koyu-p.co.jp

自費出版体験記

細川郷物語余話

天野重幸

『細川郷物語』

天野重幸著

四六判二二〇頁、カラーカバー
ガンダレ製本

平成十八年三月吉日発行



テニス、スキー、ゴルフなどのアウトドアスポーツ、碁、将棋、麻雀などのインドアゲーム、東洋ラン、サツキなどの園芸と列記すればカルチャーセンターの教科を連想されるであろう。いな、私の趣味である。「二兎追うもの一兎も得ず」の故事のとおり成績はおぼつかなかった。例えばゴルフでは40年の経験があるのにベストグロスは88という具合である。そろそろ趣味を絞ろうと考えていた頃、細川護貞著『私の履歴書』の中の「鎌倉時代足利尊氏が事を起こしたとき、三河国細川郷に細川頼春

がいた」のくだりを読んで、私の故郷が細川家（子孫肥後熊本藩主）発祥の地と知った。この本と出会い、郷土史に関心をもち細川氏の活躍した時代の細川郷の歴史を『岡崎市史』で調べてみたが殆ど記述がないことが分かった。室町時代の歴史上の人物を輩出した土地の歴史も伝える者がいなければ忘れられてしまう。そこで郷土史資料の一つとして古文書を収集してみると古文書は為政者の残したものでや名主などの残した村方文書があった。国や藩の為政者の文書は学者によって研究は進んだが、村方文書と聞くと学者は「村役人の自慢話ばかりでつまらない」としか書いていない」と語る。

しかし、村方文書は歴史教科書では知り得ない地方自治の秘話や地域社会の裏話が記録されていて、地方の情報の宝庫だっ

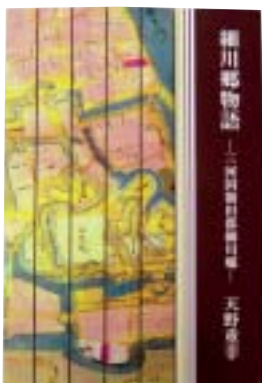
た。例えばある神社の祭礼の役割分担で係争が起り、禰宜役、神前の御供物、御酒の費用、社の修理などの詳細にわたり話し合っただけが納得する過程が記録されている。

紛争の判例集にも載っていないような情報がちりばめられている。

ならば村方文書を地方の一つの歴史ととらえ、広い視点でまとめればユニークな郷土史ができるのではないか。そんな想いから、郷土史『細川郷物語』をまとめてみた。

今後、郷土史家によって埋もれた歴史に光を当てられるのが楽しみである。

最後に『細川郷物語』上梓にあたり、追加原稿や訂正原稿など再三ご迷惑をかけたが快く引き受けて頂いた交友プランニングセンターAさんはじめスタッフ一同に心から感謝する次第である。





小さな「共同作品」の誕生



藤原 一二三

『子どもとおとなの合同礼拝
- やさしいお話 18編 - 』

藤原一二三著

A5判、162頁、カラーカバー
並製本

2006年1月17日発行

一九九五年一月一七日、のちに「阪神・淡路大震災」と名付けられた大地震が発生いたしました。多くの宗教施設が倒壊いたしました。六甲山裏側の神戸市北区に位置しているわたしたちのキリスト教会は大きな被害は免れましたが、会堂・牧師館部分が傾いてしまったのです。

長い間検討した結果、一〇年目に全面的に建て直すことになりました。建物が完成したとき、お祝いの会（二〇〇六年一月一五日）に参列いただいた方々に「感謝のしるし」として持って帰っていただくために、わたしが以前から「子どもとおとなの合同礼拝」で話してきたものを本としてお渡ししてはどうだろうか、と妻からの提案（二〇〇五年一月）がありました。

このときまで、本にまとめようなど考えていませんでした。本にしていくなかに現実にとどのような作業をしなくてはならないのか、全く分かりませんでした。妻は教会員のご主人で出版支援のポラン

ティアをしておられる方に相談して、出版が可能になる道筋を教えてくださいました。まず、妻は保存されているテープを確認、そしてテープ起こしを始めました。しかし、すぐに肩をこらせて歯医者に行かなくてはならないという現実に向

面したとき、教会員の方がポランティアでそのあとのほとんどのテープ起こしを引き受けてくださり、わたしの勝手な修正にも対応して文字原稿としてくださいました。

そのあと、出版のアドヴァイスをいただいた方に原稿を渡し、編集、校正、表現の修正、組版までしていただきました。

さらに、文字だけでは味気ないので、表紙の絵、本文中の六枚の絵を教会員の画家の方にお願いで描いていただきました。さらに各話の冒頭の挿絵も教会員のデザイナの方にて作成していただきました。

従って、出来上がってきた素敵な本は「藤原一二三著」となっていますが、わたしは、ただ皆さんのお助けをいただいて創っていた

だいた本だと思っております。小さいものですが、これはまさに「共同作品」だといって誇れるものだと思います。

交友プランニングセンターで印刷という段階で、印刷責任者の方は表紙の絵の色彩をわたしたちが納得するまで刷り直してくださいました。これが自費出版の素晴らしいところではないかと思えます。

この自費出版の本を「神戸キリスト教書店」が、全国のキリスト教書店で販売してあげようと言って協力してくださいました。この本の出版は「大震災」で始まったことですので、この日付を忘れないために「出版日」を「一月一七日」とさせていただきました。

一五日に来られた方々、そのあとでお贈りした方々から「読みやすい」「誤字がほとんど見当たらない」「絵を見てほっとする」

「各話の挿絵はイメージがふくらむ」などのお言葉をいただき、改めてこのようなプロセスを経て「本」として上梓できて良かったと、感謝の思いで一杯です。



宿題を書き終えて



島 雄

『ベートーヴェンの恋人』
島 雄著
B 6 判、70頁、口絵カラー
並製本
平成17年12月発行

人はみな、青春時代に、その人生を決めてしまうほどの大きな出会いを経験する。スポーツ、学問、芸術、師、友人、そして恋。

私の場合、その出会いの相手はスポーツでも学問でもなく、かの楽聖ベートーヴェンであった。

高校時代に名曲「運命」に遭遇した。フルトヴェングラー指揮のレコードを聴いて、全身が打ちのめされたような衝撃を受ける。続いて、ベートーヴェン自身の手になる手記二篇。一つは「ハイリゲンシュタットの遺書」、もうひとつは「不滅の恋人への手紙」である。

若くして聴力を失った彼は、絶望のどん底に突き落とされ、遺書を書く。そこには悲痛な言葉が詰まっている。しかし、それを乗り越えようとする意志もたくましい。その強靱な意志は、挫折や失意にある私を何度慰め、励ましてくれたことだろう。一方「私の天使、私のすべて、私そのものである人よ」という美しいことばで始まる「手紙」を読むときは、意中の人を想って切なさを分かちあつたも

のである。

それから半世紀。いつかは遺書を書いた家を訪ね、また彼の恋人の家まで歩いて、体験を共有したいと思いついてきた。ちょうど、いつも宿題を背負っているような気持ちである。

「遺書の家」は、今でもウィーン郊外に保存され、公開されている。四年前のウィーン訪問のときにも二回訪ねたのだが、時間外であつたり休日だったり、中にはいれなかった。

恋人の方は調べれば調べるほど迷路状態となつた。手紙の相手がだれかすら諸説入り乱れている。ただ、彼が少なくとも五人の女性に夢中になつたことはつかめた。そこで彼女たちの住んだ家を調べてみたが、はっきりしたのは二人までであつた。とりわけ彼が愛した、ブルンスヴィック伯爵家の二人姉妹が泊まつたホテルは、どんな書物を開いてもわからない。五年ほどかけて模索のすえ、なんとか探し当てることができた。

二〇〇五年六月、三度目のウィーン訪問が実現。妻とともに、ま

つさきにそのホテルを訪ねた。そのときの記憶は、三十年前、ドイツのボンにあるベートーヴェンの生家を訪ね、姉テレゼの肖像画に出会つたときとともに、一生消え去ることはない。

その年の十二月に友月書房（交友プランニングセンター）から自費出版した『ベートーヴェンの恋人』は、本というには薄っぺらな、B 6 十三ページの小冊子である。だがそこに、私は宿題の答案を凝縮させた。探し当てたホテル、遺書の家、そのほかのベートーヴェンと恋人たちゆかりの場所。それらへの訪問記のほか、私のベートーヴェンへの熱い思いや、彼の音楽と女性についての考察もつづつた。

今やつと、五十年來の宿題を書き終えてほつとしてゐる。同時に、自分を支えて來た緊張感が、ふつと失われた感じも免れない。しかし、いつまでも感傷に浸つてはいられない。まだまだ青春時代の宿題が、山のように残っているからである。

バス1日研修会のご案内

会長 田中安夫

同好の皆さん、親睦の集いへのご参加
お待ちしております。

- 日時 5月11日(木曜日)
- 切 4月20日
- 参加人数 限定40人
(定員になり次第締切ます)
- 会費 3,500円(昼食代含む)
- 集合場所 三宮駅観光バスステーション
(JR三ノ宮駅東、サンパルビル近く)
- 集合時間 AM:8時00分
- 申込方法 交友プランニングセンター
電話 078-221-4886
FAX 078-221-4887
- 行き先 有馬富士公園と
篠山城下町散策
(歴史美術館、丹波杜氏酒造記念館など)
- 天候により多少変更あり -
- 昼食 特産館ささやま

早いもので、「走る県民教室」のバスツアーも3年目になりました。五月の爽やかな季節、左記の丹波篠山周辺などを散策してみませんか？

丹波とは山々が波のように重なった姿からその名が付けられたと言われますが、五月はまさにその山々が深緑におおわれ、篠山川のせせらぎも心を和ませてくれることでしょう。

昼食は丹波篠山城主青山家に伝わる家紋に因んだ「無文銭弁当」などいただき、有馬富士公園、篠山城大書院ほか散策、歴史美術館、

第3回 交友クラブ 一日研修バスツアー参加募集

杜氏酒造記念館、能楽資料館、古陶館など、一日元気に楽しく過ごされませんか。

空体仙人、信長、光秀、家康、高虎、豪族など・・・歴史も古く高度な文化が栄え、今なお優れた文化遺産を伝えています。

是非ご参加お待ちしております。



右記「ふおーらむ」も九年目を迎えました。「継続は力なり」とスタートいたしました。皆様方の温かいご支援、ご協力のもと此処まで継続できましたことを改めて感謝申し上げます。

一昨年の平成十六年八月には別冊「語り継ごう！書き残そう！私たちの戦時体験記」を発行し、国立国会図書館、兵庫県内全図書館(一一〇件余)に献本しました。神戸新聞にも掲載されたり、多くの方々にも大好評をいただきました。この分を入れますと、九号で十冊目の節目を迎えます。

この節目に何か良い記念に残るものはないかと考えております。今回もテーマは自由ですが、編集などを工夫し、絵・写真などカラー

での掲載をご希望の方がいらつしやれば、格安でお受けし、中身の濃いものにしたいと企画中です。何編何頁・何枚でも結構ですので、どうぞ宜しくご協力のほど、お願い申し上げます。

また十号全部に投稿された方に皆勤賞、回数が多い方にも記念品などを贈りたいと考えております。皆様と当センター、お客様同士のコミュニケーションをより一層深いものにする為、努力いたしておりますが、何とぞ宜しくお願いいたします。

秋の九月七日には恒例の東急インで第5回「交友クラブ交流会」が開催されます。こちらも五回目の節目でもあり楽しい交流会にしたいと思っております。(7頁参照)

合同自費出版「ふおーらむ」 第9回 原稿募集

募集内容

- テーマ 自由
- 切 6月20日
- 仕様 A5判、220頁、並製本
表紙カラー、300部

応募費用

- 1頁モノクロ 2,500円：税別
(実費1頁5,000円の内、半分は当社負担、データ入稿は1頁2,000円 税別)
- 1頁カラー 10,000円まで：税別
(絵・写真など)
- 1頁 800字程度
- 1人何頁でも可。
- 掲載者には2冊お送りします。
残部は販売します。

(詳しくは当店まで)

題名をどうするか

藤井 昭三

文芸的読み物で「ん」の付く音が題名に含まれていると、よく売れるといわれた時代があった。小説とか随筆の類いで、そのころ評判のよかった本の題名を5つばかり取り上げてみたら、やはりみな「ん」を含んだ題名であった。長くは続かなかつたので、偶然の一次的現象だったかもしれない。

最近評判になった『さおだけ屋はなぜ潰れないのか?』（新書判）内容は真面目な経済原理が語られている。内容には特に目新しいという印象はなかつたが、題名にはひどく心引かれた。

「さおだけ」を漢字にすると「竿竹屋」になるがこれだと、私の眼を引かなかつたらう。「さおだけ」がひらがなであったからよかつたのかも知れない。

「のんびりと町を流していて、誰が相手をしていてもない。あれで商売が成り立つのだから」と他人事ながら気になる。だから一度くわしく調べてみよう、というところま

で疑問をつき詰めてみる気もない。ぼんやりした私の不安を見事に見抜いて、この本は応えてくれると言つてはいかないか。

平素はひとことながら、胸の内がすっきりしない問題というものがある。そこに触れられると、私もたまらんのである。これは題名の魅力である。

出版社のベテラン編集員でも、ヒットする題名の予測は立てられぬという。大抵の場合予想外のものにヒットが生まれるのだそうだ。売れることが目的でない自費出版のようなものは、題名にこだわるほどのことではない、と言いつけるかどうか。

人に進呈する以上は、長くその人の側にいて欲しい。

本になつたら誰かに進呈する。しないでおこつと思つても、なかなかそうはいかない。本を差し上げたなら、貰つた人がきつと誰かに話す。宣伝をして欲しくなかつても、やがて多くの知人のしるところとなる。本が残つておれば、そういう人々にも差し上げたい。

贈り物をするときだつて、包装紙を選んだりリボンを掛けたりするではないか。やはり人を引き付ける魅力を、題名に含ませておきたい。

ふつと思いついた題名候補を、その都度メモしておいて、それらを毎日眺めながら、どの題名が、飽きのこないものであるか、時間をかけて考えてみる。編集に追われて、どさくさの中で慌てふためき、とりあえずのものと済ませるより、多少は諦めがつく。家を新築したときの壁の色でも、よく目立つ色が目に付き易いが、ほんのしばらくで、飽きのくる事がある。

どんなものにも流行というものがあつて、その傾向は大量に書物を並べている書店に何度か足をはこべば、表紙の色とか題字の書体などを知ることが出来る。

自費出版書をたくさん並べている所などへ出掛けて、目を養つことも大事なことである。また、表紙にどのような図柄を付けるか、絵か写真をつかうのか、紙質、紙の色、絵と写真の色調などを考える場合は、デザイナーの範疇になるから、絵画の出来る友人などを同道して、題名との相関、相性などの意見を聞くことも効果的である。

いろいろあつて、多くの迷いも出て来るが、最後の決断は著者自身がする。これを他人にまかせると、長く後悔が残るのではないか。



今、話題の本をご紹介します！！

インターネットで自費出版本を販売しています！ (好評販売中)

自費出版専門サイトを開設しております。当センターで制作された自費出版本をインターネット上で注文、購入出来ます。あなたもホームページで自費出版本を販売なさいませんか！

<http://www11.ocn.ne.jp/~kpc> E-mail kpc@koyu-p.co.jp

(消費税込・送料無料)

業績・研究成果



「わたしの学校経営」
寺尾滋明著
1,600円

「漢字読み用例集」
瀬田慶太郎著
1,800円

「風水都市福原」
中島 豊著
1,000円

「小学校
絵を見て学ぶ国語教室」
愛原 豊著
1,500円

「中学校
国語教育の豊かな世界」
愛原 豊著
1,680円

「加藤弘之とその時代」
武田良彦著
2,100円



「Errorology in English」
SUENOBU, Mineo
12,000円

「日本語ベトナム語面白辞典」
1,155円
「日本語モンゴル語面白辞典」
1,260円 谷守正寛、他著

「神出むかし物語」
(改訂増補版)
藤井昭三著
2,100円

「古代人の心で山名を
読む」永田良茂著
2,500円

「古代人の心で地名を
読む」永田良茂著
2,500円



紀行文・エッセイ

「溪流彷徨」
游 魚人著
1,800円

「川柳作家文学を歩く」
平山繁夫著
3,000円

「絵筆片手に」
知念正文著
1,470円

「阪神大震災を越えて」
網 哲男著
1,200円

「ぶらり歴史散歩」
田中安夫著
1,200円

「プラハ有情」
田中安夫著
1,000円



「余白のうめ草」
島田喜十郎著
1,470円

「大震災名言録」
藤尾 潔著
580円

「日本らしい構造」
加藤隆一著
1,200円

「モンゴルの青い空」
藤井昭三著
1,470円

「私の兵庫百山」
松川良衛著
1,600円

「初めて見える風景」
杉山忠雄(湊州)著
1,200円



川柳句集・小説

「一椀の詩」
梶原サナエ著
2,500円



「自選画集」
森下哲也著
2,000円



「さくらのひとりごと」
かとうゆうこ作
にしぐちよしこ絵
1,300円



「新しい古窯」
山根 毅著
2,800円



「兵庫運河スケッチ画集」
藤崎 實著
2,000円

画集・写真集・絵本



明治・大正・昭和
「懐かしの神戸絵ハガキ聚」
PART2
東京・横浜・大阪・京都・神戸



「懐かしの神戸絵ハガキ聚」
PART5
中右 瑛著 各 1,500円



合同年刊誌
「ふぉーらむ」8号
交友プランニング発行
1,500円



「蘇えるもの」
西坂幸人著
1,500円



「最後の老中と藩士達」
高田良介著
1,890円

その他

予告 第5回交友クラブ
交流会ご案内

会長 田中安夫

同好の皆さん、親睦の集いへのご参加お待ちしております。

日時 9月7日(第1木曜日)
AM 10:00 ~ PM 2:00

切 8月20日

参加人数 限定50人
(定員になり次第締切)

会費 2千円

場所 東急イン
(JR三宮駅を海側へ出てすぐ東)

申込方法 交友プランニングセンター
友月書房
電話 078-221-4886
FAX 078-221-4887

- 一口コメント(希望者)
- 第9回日本自費出版文化賞入賞作品展示、当社応募作品入賞者表彰
- 交友プランニング・友月書房新刊書展示
- 「交友クラブ交流会5周年」、「合同自費出版ふぉーらむ10周年」、「プランニングセンター開設20周年」記念品進呈、他。

GALLERY FORUM 報告

ギャラリーフォーラム

第9回日本自費出版文化賞作品応募経過報告

応募総数は全国から八四五点、当社からは一〇点応募しております。その第一次審査の切が三月二十五日で選考完了いたしました。第二次選考会は各部門の先生方を交え東京・八王子大学セミナーハウスにて開催され、参加いたします。最終選考会と記者発表は六月一日東京・武蔵野市吉祥寺東急インで行われます。七月十五日には東京・九段アルカディア市ヶ谷にて第9回の表彰式・懇親会が開催されます。

シニア向けパソコン教室募集

場 所 交友プランニングセンター内
電 (〇七八) 二二二・四八八六

日 時 毎週月曜日・午後一時〜三時

費用 一、五〇〇円(一回)
(マンツーマンです)

講習会も七ヶ月が過ぎ、毎回楽しく二時間余りを悪戦苦闘しております。三月からはエクセルも勉強しております。一回に四人の少数教室ですので、また興味をお持ちの方は、ご連絡下さい。面倒な会則、拘束などありませんが、基本的には、一ヶ月四回で、何ヶ月でも継続自由です。納得のいくまで「生き生き生涯勉強」で頑張ってください。

近刊本紹介

『有馬きたきたブック』

太田龍土著

平成十七年十一月吉日第一刷発行

平成十八年一月吉日第二刷発行

B六判、八八頁、口絵カラー

並製本

『ペーターヴェンの恋人』

島 雄著

平成十七年十二月発行

B六判、七〇頁、口絵カラー

並製本

『晴友』第八号

晴友吟詠会広報部編集・発行

平成十八年一月一日発行

B五判、三〇頁、表紙カラー

並製本

『花鏡』一月号

花鏡短歌会編集・発行

平成十八年一月一日発行

A五判、三四頁、並製本

『ちぬの海』第二一五号

ちぬの海短歌会編集・発行

平成十八年一月一日発行

A五判変型、三四頁、並製本

『子どもとおとの合同礼拝』

藤原一二三著

二〇〇六年一月十七日発行

A五判、一六一頁、カラーカバー

並製本

須磨寺塔頭正覚院シリーズ第四巻

『須磨寺と良寛さま』

大本山須磨寺塔頭正覚院発行

平成十八年二月吉日第三刷発行

A四判、一一〇頁、並製本

須磨寺塔頭正覚院シリーズ第五巻

『平成以降(一)』

大本山須磨寺塔頭正覚院発行

平成十八年二月吉日発行

A四判、一一〇頁、並製本

『ちぬの海』第二一六号

ちぬの海短歌会編集・発行

平成十八年三月一日発行

A五判変型、三二頁、並製本

『細川郷物語』

天野重幸著

平成十八年三月吉日発行

四六判、二二〇頁、カラーカバー

ガンダレ製本

『手』

神戸親和女子大学文芸部発行

平成十八年三月二十一日発行

B五判、二二頁、並製本

あなたには あなたの 歴史があります 自分史 はあなたの生きた証です 自分史づくりをあらゆる面から お手伝い致します

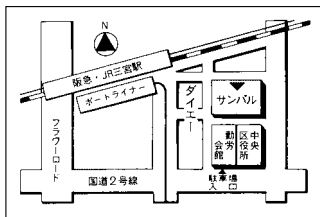
明治・大正・昭和・平成と、近代日本の一四〇年は、文字どおり激動の時代でありました。この時代に生を受け、この時代を生きた人々の歴史は、それぞれに宝のような存在です。
あなたご自身の軌跡はいかがでしょうか。時代の激しい大波の中で、実に様々な曲折浮沈の体験を積み重ねてこられたことでしょうか。
お子さんやお孫さん達、後輩達、若い人達に、「これだけは伝えたい」「これだけは覚えて欲しい」というお気持ちがあることは無いでしょうか。
書くことが苦手。記録の整理が大変...そんな障害は軽く越えられます。本づくりのペテランが、ちょっとお手伝いするだけで、あなたご自身の生きた証が、立派な本となって誕生するのです。

本社 交友印刷株式会社

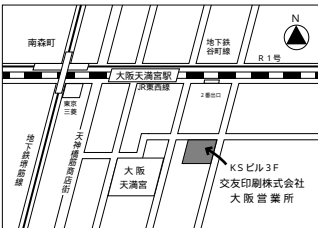
TEL(078)303-0088
FAX(078)303-1320
http://www.koyu-p.co.jp

休日のお知らせ

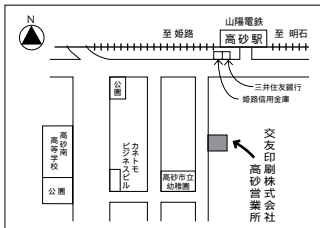
- 4月 2(日)、5(木)、9(日)、16(日)、20(木)、23(日)、29(祝)、30(日)
- 5月 3(水)~7(日)、11(木)、14(日)、18(木)、21(日)、28(日)
- 6月 1(木)、3(土)、4(日)、11(日)、15(木)、18(日)、25(日)



GALLERY FORUM
交友プランニングセンター
〒651 神戸市中央区雲井通5丁目3-1-0096
サンバルビル2F
TEL(078)221-4886
FAX(078)221-4887
http://www11.ocn.ne.jp/kpc



大阪プランニングセンター
〒530 大阪市北区東天満1丁目12番13号
-0044 KSビル3F
TEL(06)6242-8875
FAX(06)6242-8876



高砂プランニングセンター
〒676 高砂市高砂町鍵町772番地
-0066 TEL(0794)42-3426
FAX(0794)44-2117

休日のお知らせ (本社・高砂・大阪)

- 4月 1(土)、2(日)、8(土)、28(日)
- 9(日)、15(土)、16(日) 6月 3(土)、4(日)、10(土)、22(土)、23(日)、30(日)
- 11(日)、17(土)、18(日)
- 5月 3(水)~7(日)、13(土)、24(土)、25(日)
- 14(日)、20(土)、21(日)

